

水稻品種「ヒノヒカリ」の栽培法

第1報 施肥法と生育収量

*重富 修・広田雄二・野中和弘・横尾浩明 (佐賀県農業試験場・佐賀中部農林事務所)

Osamu SHIGETOMI, Yuji HIROTA, Kazuhiro NONAKA and Hiroaki YOKOO :
Cultivation Methods for Rice Cultivar "Hinohikari"

1. Effects of Fertilizing Method on the Growth and Yield.

水稻新品種「ヒノヒカリ」は、九州における中生の良食味品種として育成されたものであるが、稈長が伸びやすく倒伏に弱い、葉身が下垂して草姿が乱れやすい等栽培面では不利な特性がある。

そこで、本品種の安定栽培法を確立するため、1987年と'88年に施肥法について検討したので、その概要を報告する。

1. 試験方法

試験区の構成は第1表に示した。1987年は中間追肥の量を変えた区とつなぎ肥有無の区を、'88年には基肥及び中間追肥の量を変えた区を設け、それぞれの施肥法が生育及び収量に及ぼす影響を調査した。なお、移植期及び栽植密度は'87年は6月19日、20.1株/m²、'88年は6月21日、21.4株/m²とした。

2. 結果及び考察

結果を第2表に示した。

第1表 試験区の構成

年次	試験区	施肥量(N・kg/10a)						
		基肥	中肥	つなぎ肥	穂Ⅰ	穂Ⅱ	実肥	計
1987年	1	4.5	2.0	0	4.0	1.3	1.3	13.1
	2	4.5	2.0	1.5	4.0	1.3	1.3	14.6
	3	4.5	3.0	0	4.0	1.3	1.3	14.1
1988年	4	3.0	2.0	—	4.0	1.3	—	10.3
	5	4.5	2.0	—	4.0	1.3	—	11.8
	6	4.5	3.0	—	4.0	1.3	—	12.8
	7	5.5	2.0	—	4.0	1.3	—	12.8

注) 中追は1987年が7月11日、'88年が7月8日、つなぎ肥は7月28日施用した。

1) 1987年 いずれの中間追肥量についても、生育には差がみられなかったが、2kg (10a当たりN施肥量) 区よりも3kg区の方で登熟歩合がやや高くなり、収量も増加した。つなぎ肥については、無施用区では穂肥前の葉色が3.0 (富士カラーズケール、以下同じ) まで褪色した。しかし、施用区では4.0程度に留まり、葉身の伸び率が大きくなり、やや下垂し、草姿を乱した。また、有効茎歩合は高く穂数も多かったが、稈長が葉身と同様やや長くなり、倒伏程度も大きかった。収量には差をほとんど認めなかった。これは、つなぎ肥施用によりm²当たり籾数は増加したが、千粒重が低下したことによるものと考えられた。

2) 1988年 基肥4kg区を標準とすると、3kg区では初期から茎数が少なく、穂数も少なかった。5.5kg区では、初期生育は旺盛であったが、有効茎歩合が低下し、穂数は標準より少なかった。また、基肥量が多くなるほど一穂籾数は少なくなり、登熟歩合は逆に高くなる傾向がみられた。しかし、収量はいずれの区も標準より劣った。中間追肥量間には生育の差はみられず、収量は前年と異なり、2kg区が3kg区を上回った。

3) 以上から、「ヒノヒカリ」の施肥法は、安定して穂数を確保する上からは、基肥は10a当たり4.5kg程度、中間追肥については2~3kgが適当と考えられた。また、つなぎ肥については葉身が伸び過ぎ、草姿を乱し、さらに倒伏を助長するので、施用しない方が良いと考えられた。なお、今回は穂肥については検討しなかったが、本品種が従来の品種に比べ葉色が薄い (穂肥前3.0程度) ことから、施用時期や施肥量の診断を誤らぬよう注意する必要がある。

第2表 生育、収量、収量構成要素及び品質

試験区	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	最高莖数 (本/m ²)	倒伏 程度	玄米重 (kg/a)	同左 比率	一穂 籾数	m ² 当たり 籾数(×100)	登熟 歩合	千粒重 (g)	検査 等級
1	81.5	19.3	324	529	1.8	52.4	(100)	83.0	269	89.0	22.0	1下
2	83.6	18.9	338	523	2.5	52.1	99	83.3	282	86.7	21.6	1下
3	82.2	19.2	326	516	1.5	56.0	107	84.5	275	91.1	22.1	1下
4	92.7	19.7	322	504	0	63.9	96	96.1	301	89.2	22.4	1下
5	92.9	19.6	337	532	0	66.6	(100)	91.4	308	91.4	22.3	1下
6	91.4	19.6	321	520	0	64.5	97	92.1	290	91.6	22.4	1下
7	90.2	19.7	329	526	0	63.7	96	91.1	292	92.7	22.3	1下